

「呼吸器疾患終末期患者に対するオピオイドとその他の鎮静の使用実態」へご協力をお願い

— 2022年1月～2022年12月の間に、当院呼吸器内科で死亡された患者様のご家族へ —

研究責任者 岩国医療センター 呼吸器内科 田村朋季

1. 研究の背景・目的

オピオイド（麻薬性鎮痛薬）は肺がんをはじめとした悪性腫瘍の終末期緩和治療において、疼痛緩和だけでなく呼吸困難の緩和に対しても標準的に使用される薬剤です。一方で非悪性腫瘍においてはその有効性は一致した結果が得られていません。ただ一部の患者様においてはオピオイドの有効性が報告されており、標準的な呼吸困難に対する治療で症状が緩和しないかたに対する薬物療法の選択肢です。この研究の目的は悪性腫瘍が合併していない呼吸器疾患の終末期の呼吸困難緩和のためにオピオイドが使用された頻度やその期間を評価することで、今後の緩和ケア治療の質を向上させることです。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2022年1月～2022年12月までに当院の呼吸器内科で死亡された患者様のうち、人工呼吸器がついていなかった患者様が対象となります。

2) 研究期間

2023年10月開催倫理委員会承認後～2024年12月

3) 研究方法

研究者が既存のカルテ情報からの情報を取得し、解析を行います。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。抽出項目は性別、年齢、併存症、死亡原因、使用したオピオイドの内容及び期間、使用した鎮静剤の内容及び期間などの情報です。

5) 情報の保存・二次利用

この研究に使用した情報は、匿名化した上で、研究終了について報告後5年間当院に保存し、新たな医学研究に使用させていただきます。また、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、岩国医療センターのホームページに情報を開示してお知らせします。

カルテデータから抽出し評価する観察研究であり、患者さんの個人情報を抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配はありません。この研究にご質問等がありましたら、下記の間合せ先にお尋ね下さい。

<問い合わせ・連絡先>

研究責任者：岩国医療センター呼吸器内科 医師 田村 朋季

〒740-8510 山口県岩国市愛宕町1丁目1番1号

TEL 0827-34-1000（代表）